

遠隔授業の現状と対策について

2020年5月8日 21時

山口です。GWも終わり、来週5月11日(月)からは、遠隔授業が正式授業となります。「今までに、操作などに慣れていなかった方も、GW期間を利用して操作をマスターし、遠隔授業による正式授業に対応してほしい」ということを以前書きましたが、現状では、多くの学生が操作をマスターしつつあるものの、システムの仕組みの理解や操作方法、課題の多さなどで戸惑っている方もいることが、わかってきました。

いくつかの例を示します。

- ① ほぼパソコンの操作や課題の方法に慣れ、特に問題はない。
- ② パソコンの操作には慣れてきたが、オンライン授業や課題にうまく対応できていない。
 - ・ たくさん来るメールの見落とし等で、やるべき課題にアクセスできていない。
 - ・ やるべき課題はわかるが、学習計画がうまくできていない。
 - ・ 内容や用語が難しく理解が伴わず、先に進めない。
 - ・ 頑張っているが、量が多く追いつかない。
- ③ システムの理解や操作が全体的、または部分的にうまくいっていない。
 - ・ 複数あるシステムの使い分けがうまくできなく、混乱してしまっている。
- ④ 生活リズムが整わなかったり、やる気が出ないことで、学習に向かうことができない。

これらが複合していることや他の理由もあるとは思いますが、②～④の状態は、なんとか早急に解決したいと考えています。そこで、1年団や総合支援センターでは、現時点で次のように考えています。

- ・ 1年生で困っている方には、個別に支援の相談を受けます。
→遠慮なく、個別の相談を申し出てください。
- ・ うまく課題に対応できていない場合は、こちらから個別に支援します。
→担任や担当からのメールや電話には、必ず応答してください。
- ・ キャリアカウンセラー制度を運用し、担任・副担任に加え、3～4名での学生グループを担当する教員が定期的に様々な相談を受け、アドバイスを行います。(現在準備中です)
- ・ 遠隔システムを使って、学生同士の繋がりから互助的な関係づくりをしていきます。

まだ入学式しか来たことのない津山高専ですが、登校再開した時にも、学習や生活に対応できるように、ネットでも同様の課題が出されています。高専は大学のような単位制度と、専門分野へ繋ぐためにやや高度な学習内容と多様な指導方法を早期から行います。このコロナウイルス禍は、収束の予想が立ちにくい状況ですし、遠隔学習は当面続きます。高専のカリキュラムに徐々に慣れていくように、今後もいただいた意見を元にできうる限りの配慮は行いますが、学習レベルを急に落とすことはできません。学生の皆さんは、「自律して、頑張る学習が必要だ」とは頭では分かりつつ、気持ちがあくじけそうになることもあるでしょう。繰り返しになりますが、様々な点で困っている時には各担当から支援を行いますので、必ずSOSを出してください。また学校からの呼びかけにこたえてください。人によって困っているところは違いますので、誰にどのような支援が必要かは、百人百通りで、個別によく相談した上で進めていきます。

今の時期、「学習に慣れる努力」+「学校からの支援」。これは自転車の両輪です。完全に一輪車状態で走れる学生はほとんどいません。共に協力して、この困難な状況を乗り越えていきましょう。保護者の方におかれましても、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。